



このコーナーは、Air てっし(エフエムなよろ)との共同企画で、市長がテーマを設定し、Air てっしパーソナリティーと対談した内容を本紙掲載ならびにAir てっしで放送いたします。今月のパーソナリティーはAir てっしの伊藤美和子さんです。対談では「Air てっし」と表示させていただきます。

## 大切にしたい杉並区との心の交流 ～「阿佐谷ジャズストリート2010」に参加して～

**Air てっし** まず、杉並区と交流のはじまりと交流の主な内容をお聞かせください。

**市長** 旧風連町と杉並区との間で、平成元年に交流自治体協定を締結し、平成18年には当初の精神を引き継ぎ、合併後の新名寄市と杉並区との間で新たに協定を締結しました。その交流の歴史は21年以上にわたり、都会っ子との体験交流事業、ふうれん白樺まつりや東京高円寺阿波おどり大会などの各種イベントへの相互参加、防災援助相互協定の締結など、物心両面にわたり、幅広い交流が行われてきました。当時は人口が約5千人の旧風連町と50万人都市の杉並区。そこには田舎にしかない、あるいは都会にしかないお互いのまちのすばらしさを認め合い、尊重してきた地域住民同士の心の繋がりがありません。昨年、交流締結20周年を契機にこれまでの成果を踏まえ、都市と農村が互いに支え合う関係としてさらなる交流の発展を約束し、島前名寄市長と山田前杉並区長との間で改めて調印が交わされました。

4月に市長就任以来、私もこの思いをしっかりと受け継ぎ、伝えていくべく、東京出張のタイミングも利用して3度杉並区にお邪魔しております。3度目の訪問では、10月22、23日に開催された杉並区を中心地で行われる音楽イベント「阿佐谷ジャズストリート」に参加しました。

**Air てっし** このイベントに参加したいきさつ、また地域の方がどういった思いで、このイベントをスタートさせたのでしょうか。

**市長** 今回、イベント会場の一つである杉並区役所前で名寄市物産展を開催した名寄商工会議所青年部が杉並区商店街連合会青年部との交流を図り、今後とも民間交流により名寄の物産販売・PRを展開していきたい、名寄を売っていききたいという熱い思いがありました。私も「星と音楽のまちづくり」という夢があり、市民のボランティアから生まれたこの音楽イベントを参考にしたいという思いもあり、市のトップセールスマンとして参加しました。

このイベントのきっかけは15年前のオウム真理教による地下鉄サリン事件でした。1995年当時阿佐谷には教団の拠点施設である「阿佐谷道場」がありました。このイメ

ージを何とか払拭したい。地域住民や有名ミュージシャン、商店主などの地域を愛する人たちがボランティアでこのイベントをスタートさせました。道端で、あるいはお店の中や神社の境内、街のいたる所で様々なバンドが演奏、それを楽しむ沢山の聴衆。音と人でまちは活気に満ち溢れていました。

**Air てっし** 物産展も盛況だったそうですが、当日の様子などお聞かせください。

**市長** イベントの集客効果もあり、物産展における販売は非常に好調でした。名寄の若手経済人の行動力に頭が下がりますし、準備段階で多くの杉並区職員を始め、職員OBの方がたなど、多くの区民の献身的なご協力があったので成功でした。

7月に新しく杉並区長になられた田中良さんとも懇談させていただきました。50歳の若さで東京都議会議員を5期務められ、直近まで都議会議長でした。菅首相を始め、中央政界とのパイプも太い政界の重鎮ですが、私とも本当にフランクに話しをしていただき、早く名寄に行きたいと希望していました。皆さんも楽しみに待っていてください。

便利で物が溢れている時代だからこそ、人と人とのつながり「あの人」と言われる具体的な信頼の醸成が重要なのではないかと今、私は思います。「あの人」が作っている、売っているから買うのです。「あの人」がいるから行くのです。心と心の国内交流・国際交流をこれからも大切に育んでいきたいと思えます。

**Air てっし** 国内外との交流をとおして「人」が繋ががり、相互協力によるまちづくりを期待します。

※この企画のAir てっしでの放送時間は、毎月1日と10日の午前と午後の予定。土・日・祝日のときは、その翌日の放送となります。



**「名寄市からのお知らせ」** を放送中  
市からのお知らせやイベント情報などを紹介しています。

放送＝毎週月～金曜日 ① 8:10から ② 12:30から ③ 17:10から